

ユース環境活動発表

近畿大会で優秀賞

篠山東雲高自然科学部

「本来の生態系取り戻す」

0年度から実施している秀賞は実質ベスト9のため、全国進出はかなわなかつたが、賞を頂

発表したのは、部長(3年、篠山中出身)、さん(同、同)、さん(2年、狭間中出身)、さん(1年、川西市立東谷中出身)。

ただ、「外来生物も他の生物と同様、大切な命」「ウシガエルはもともと食用目的で北米から持ち込まれた」などの考

2025年1月12日
丹波新聞



篠山東雲高校の自然科学部(8人)の4人が、高校生が取り組む環境活動やSDGs活動を発表する「第10回全国ユース環境活動発表大会」(環境省など主催)の近畿地方大会で優秀賞を受賞した。近畿地方2府4県から1次選考を通過した13校が出場。同部は「外来生物から掘る環境を守れ!」のタイトルで、篠山城跡周囲の堀で202

「全国ユース環境活動発表大会」の近畿地方大会で優秀賞を受賞し、喜ぶ篠山東雲高校自然科学部の4人。丹波篠山市福住で

発表では、これまでに定置網やもんどりを使い、おおよそ、ウシガエルの成

体30匹、幼生(オタマジャクシ)1万2000匹、ブルーギル3500匹、アメリカザリガニ2500匹を捕獲したと紹介し、年々捕獲数が減少しているのを在来種保護の効果が出ている、と報告した。

いしかった」などと食べた感想を伝えた。最後に「これからも活動に戻していくとともに、外」来生物を食資源として捉えた研究も進めていきたいと締めくくった。